

松戸駅西口の駅ビルエレベーター

早朝利用に前進

共産党交渉に松戸市担当室長が言明



2月15日、日本共産党松戸中央支部

(阿部昌子支部長)は高橋たえ子市議、みわ由美前県議とともに「松戸駅西口エレベーターの整備を急いで下さい」との申し入れを松戸市に対して行い交渉しました。これは松戸駅西口に24時間使えるエレベーターがないことから、多くの高齢者や障害者が西口利用に大変な不便を強いられている現状を一刻も早く改善しようとしたものです。

松戸市都市整備本部企画管理室長のやり取りで明らかになったのは以下の通りです。

●松戸駅バリアフリー施設整備に伴うJRの駅改良計画の中には西口エレベーター設置の予定はない。各ホームにエレベーターとエスカレーターを新設・増設し、改札内トイレを段差のない多機能トイレにするのがバリアフリー化の内容である。完成予定は2018年度。

●西口デッキ上から地下駐車場に通じるエレベーターは松戸市で計画しているが、やっとな基本設計に入った段階でまだ完成予定を言える状態ではない。

●それ以前にも駅ビルアトレのエレベーターの利用時間延長を計画している。具体的には、始発から駅ビル開店時間までの利用が可能となるような改造を予定

している。順調に進めば、夏頃から利用できる予定である。ただ開店時間までは建物内の通過はできず、いったん西口デッキに出てから駅に入ることになる。

交渉では、西口エレベーターの整備についてこれまでもたくさん要望が市に届いていることが明らかになりました。

また交渉で党支部の代表は、松戸駅バリアフリー化計画の全体像を広く市民に知らせ市民の要望を聞いて計画の充実に図る必要性を提起しました。これに対し室長はその必要性を認め、「出前講座」の要望があれば説明に行くことを約束しました。ただ「広報まつど」への計画図面等の掲載については、スペースの問題で検討課題としたいと述べました。

駅ビルアトレのエレベーターの利用時間延長については、党支部は一刻も早い実現と終電時刻までの延長とを重ねて要望するとともに、利用しやすくするために建物内通過、ビル扉の自動ドア化などを強く要望しました。

松戸駅バリアフリー化の 充実と早い実現のために 市民の声を市に届けよう

松戸駅バリアフリー化の完成は2018年度とされていますが、それを少しでも早くさせることが市民にとっては必要です。またその内容を充実させることも必要です。そのためには松戸市に対して市民の声を届けることが大切です。

党支部も高橋た

え子市議・みわ由美

前県議とともに市

民の声を集めて市

に届けて行きます。

これまでに、駅の改

札外にバリアフリ

ーのトイレを早く

設置してほしいと

の要望が党支部に

届いています。

2013年3月10日
日本共産党松戸中央支部
連絡先 阿部 Tel 364-7542
市議会議員 高橋 たえ子
前県議会議員 みわ 由美